

科目ナンバリング		G-LET27 67031 LJ38									
授業科目名 <英訳>		考古学(特殊講義) Archaeology (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名		人文科学研究所 教授 岡村 秀典			
配当 学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2019・ 後期	曜時限	月2	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目		中国古代の考古学的研究									
【授業の概要・目的】											
中国には三千年の漢字文化があり、伝世文献のほか、甲骨・金文・簡牘などの出土文字資料が近年ますます増加している。本講義では、中国古代（殷周・秦漢時代）の考古資料について、そうした史資料を参考にしながら、古代に生きた人間の営みを考える。											
【到達目標】											
考古資料の外形とその変化を追求するだけでなく、中国古代のさまざまな史資料を参考にしながら、それを作り使った人間の営みを探求し、人文学としての考古学を展望する。											
【授業計画と内容】											
以下の各項目について講述する。各項目の講義の順序は固定したのではなく、担当者の講義方針と受講者の背景や理解の状況に応じて適切に決める。後期は漢代の銅鏡とその銘文について、自著での到達点を概説しつつ、中国や欧米における新しい研究を補足し、今後の展望を示す。											
第1回 鏡はどのように使われたか（1）											
第2回 鏡はどのように使われたか（2）											
第3回 鏡はどのように使われたか（3）											
第4回 鏡の銘文と文学（1）											
第5回 鏡の銘文と文学（2）											
第6回 鏡の銘文と文学（3）											
第7回 銅鏡からみた芸術のはじまり（1）											
第8回 銅鏡からみた芸術のはじまり（2）											
第9回 銅鏡からみた芸術のはじまり（3）											
第10回 銅鏡からみた芸術のはじまり（4）											
第11回 銅鏡からみた芸術のはじまり（5）											
第12回 銅鏡からみた芸術のはじまり（6）											
第13回 銅鏡からみた芸術のはじまり（7）											
第14回 まとめ - 古代から中世への手工業の変容											
第15回 定期試験											
第16回 フィードバック											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
定期試験（筆記）											
----- 考古学(特殊講義)(2)へ続く -----											

考古学(特殊講義)(2)

[教科書]

使用しない

[参考書等]

(参考書)

岡村秀典 『鏡が語る古代史』 (岩波新書) ISBN:4004316642

[授業外学習(予習・復習)等]

日頃から歴史だけでなく、思想文化にも関心を持ち、異文化に対する理解を深めておくこと。

(その他(オフィスアワー等))

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。